



黒岩比佐子 著
角川学芸出版
1785円(税込)

戦前の国語教科書の定番として知られる『武蔵野』の著者、国木田独歩。本書では、「報知新聞」記者、グラフ誌『東洋画報』の編集長、出版社「独歩社」の経営者など、作家活動以外のさまざまな活動を紹介している。国木田独歩の没後100年を記念して刊行された一冊。

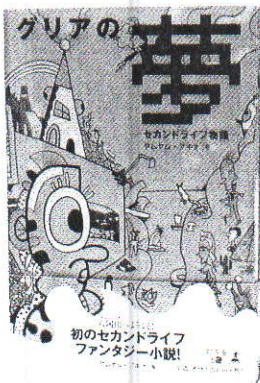
『編集者
国木田独歩の時代』



印刷学会出版部 編
印刷学会出版部
9030円(税込)

第一部の「近代印刷史歴史」では、印刷文化、印刷技術、デザイン、タイポグラフィなどのテーマごとに章立てし、近代日本の印刷文化、技術革新の歩みを解説。第二部では、100年以上の歴史を持つ印刷専門誌『印刷雑誌』に掲載された過去の記事から、資料的価値のある記事を厳選して収録した。全803ページの大作。

『印刷雑誌
とその時代』



ヤムヤム・アキナ 著
幻冬舎メディアコンサルティング
1260円(税込)

仮想世界セカンドライフを舞台に繰り広げる、アバター・日本人女性グリアの物語。実際にセカンドライフ内に「八国山アイランド」という島を設け、「赤い羽根募金」などの環境保護・人道支援活動を推進する、ブロードバンド接続サービス提供会社・インターリンクが企画・監修を務めている。

『グリアの夢
―セカンドライフ物語―』



阿刀田高 著
時事通信社出版局
1680円(税込)

現在、日本ペンクラブ会長で直木賞選考委員でもある著者が、文章について語った一冊。国立国会図書館に司書として勤務する一方で執筆活動を続け、過去には日本推理作家協会賞、直木賞などの受賞経験を持つ。第1部で「書く作法」、第2部で「読む作法」を解説している。

『日本語を
書く作法・読む作法』